

# 受験料返還確定へ

## 不正入試 東京医大、控訴せず

東京医科大(東京)の医学部不正入試問題で、特定適格消費者団体のNPO法人「消費者機構日本」が元受験生らに代わって、同大に受験料返還などの義務があることを確認を求めた裁判で、同大側は控訴期限の23日、返還義務を認めた1審・東京地裁判決に控訴しない方針を明らかにした。機構側も控訴しない方針で、判決が確定する。

悪質商法などによる被害回復の手だてとして、2016年10月に施行された消費者裁判手続特例法に基づき、裁判の判決確定は初めて。手続きは2段階で行われ、今回の判決確定後、裁判所で個別の被害者への賠償額を決める第2段階の手続きに入る。

同大は医学部入試の2次試験の小論文で女子らが不利になるよう得点操作を行っており、今月6日の判決は「違法」と判断。受験に

今後の第2段階では、同機構がホームページや元受験生への通知で裁判に参加する被害者を募り、東京地裁に届け出る。地裁で賠償額が確定すれば、同大から被害者に支払われる。受験料などの返還対象は17、18年の受験で不合格となった女子や浪人生などで、女子だけで延べ約2800人になる。

同大は23日、「裁判所の

判断を真摯に受け止め、控訴しないことにした」とする矢崎義雄理事長のコメントを公表。同機構の磯辺浩一専務理事は「(同大の対応は)早期解決に向け、望ましい。今後の手続きにも協力してほしい」と述べた。

### 前理事長ら4人 来月20日初公判

文部科学省の私大支援事業を巡る汚職事件で、東京地裁は23日、受託取賄罪で起訴された同省元局長・佐野大被告(60)や、贈賄罪で

在宅起訴された東京医科大前理事長・白井正彦(78)、前学長・鈴木衛(70)の両被告ら4人の初公判を4月20日に開くと明らかにした。ほかの1人は、受託取賄ほう助罪で起訴された医療コンサルティング会社元役員・谷口浩司被告(49)。

悪質商法などによる被害回復の手だてとして、2016年10月に施行された消費者裁判手続特例法に基づき、裁判の判決確定は初めて。手続きは2段階で行われ、今回の判決確定後、裁判所で個別の被害者への賠償額を決める第2段階の手続きに入る。

### 東京医科大の不正入試問題を巡る裁判の流れ

受験料などの返還義務の確認を求め、「消費者機構日本」が東京医科大を提訴

#### 東京地裁判決(6日)

消費者機構日本が勝訴  
⇒期限(23日)までに同大が控訴せず確定

消費者機構日本が被害者を募り、東京地裁に届け出

同地裁が被害者ごとの賠償額を確定。支払いへ

第1段階

(これまでの手続き)

第2段階

(今後の手続き)

# 大学ランク 東北大1位

## 英誌日本版、国際性を評価

世界大学ランキングで知られる英国の教育専門誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション」は24日、日本版の大学ランキングを発表した。東北大が初めて総合1位となり、京都大が2位、東京大と東京工業大が同率で3位だった。日本版の発表は、今回が

4回目。国内の278大学が参加し、上位20校のうち国立大が15校を占めた。昨年3位だった東北大は、留学生比率などで測る国際性が評価された。東工大は国際性のほか、教育の充実度などが評価され、昨年の7位から大きく順位を上げた。世界ランキングで

※タイムズ・ハイヤー・エデュケーションの調査を基に作成。( )は前回順位

順位	大学名	国公立別
1 (3)	東北大	国
2 (1)	京都大	国
3 (2)	東京大	国
3 (7)	東京工業大	国
5 (4)	九州大	国
6 (5)	北海道大	国
7 (5)	名古屋大	国
8 (8)	大阪大	国
9 (9)	筑波大	国
10 (10)	国際教養大	公
11 (11)	国際基督教大	私
12 (12)	広島大	国
13 (13)	早稲田大	私
14 (14)	慶応大	私
15 (16)	神戸大	国
16 (15)	一橋大	私
17 (21)	長岡技術科学大	国
18 (18)	金沢大	国
18 (22)	東京農工大	国
20 (17)	上智大	私

◆大学ランキング日本版上位20校

は研究力が重視されるが、成果、国際性などを指標と日本版では教育の充実度やしている。